

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成29年8月24日(2017.8.24)

【公開番号】特開2016-19561(P2016-19561A)
 【公開日】平成28年2月4日(2016.2.4)
 【年通号数】公開・登録公報2016-008
 【出願番号】特願2014-143541(P2014-143541)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 S

A 6 3 F 5/04 5 1 2 J

A 6 3 F 5/04 5 1 2 T

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月7日(2017.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

小径遊技媒体または大径遊技媒体のいずれかの円盤状の遊技媒体を使用する遊技媒体使用機であって、

前記遊技媒体の直径を収納できる複数の収納孔を有するディスクと、

前記ディスクの回転によって前記収納孔から前記ディスクの外側へ1枚ずつ送り出された前記小径遊技媒体又は前記大径遊技媒体を、放出口ーラに向けてガイドする小径用ガイド面及び大径用ガイド面を有する放出ガイド片と、

前記放出ガイド片によってガイドされた前記遊技媒体によって定位置から所定量だけ前記放出ガイド片から遠ざかる方向に動かされ、前記定位置に戻るときの復元力によって前記遊技媒体の直径を前記放出ガイド片とで挟みつつ前記遊技媒体を放出する前記放出口ーラと、を備え、

前記放出ガイド片は、

前記小径遊技媒体を使用する場合において前記小径用ガイド面のうち前記放出口ーラに最も近い箇所と前記放出口ーラとの間の距離と前記小径遊技媒体の直径との差が、前記大径遊技媒体を使用する場合において前記大径用ガイド面のうち前記放出口ーラに最も近い箇所と前記放出口ーラとの間の距離と前記大径遊技媒体の直径との差と同じになるように配置変更可能な構成をとるものであり、

前記小径用ガイド面と前記大径用ガイド面とを識別する識別表記を有する

ことを特徴とする遊技媒体使用機。

【請求項2】

前記放出口ーラの動きに基づいて前記遊技媒体を検知するフォトセンサと、

前記フォトセンサが前記遊技媒体を検知すると、前記遊技媒体が通過したことを検出する磁気センサと、

を備えることを特徴とする請求項1に記載の遊技媒体使用機。

【請求項3】

前記ディスクは、前記収納孔の一部に前記遊技媒体を下方から支持する底部を有する

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技媒体使用機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

特許文献 2 には、遊技機に内蔵されているコイン（メダル）送出装置の技術について開示されている。しかし、特許文献 2 には、コイン送出装置にて送出されるメダルが小径メダルから大径メダルに変更されることや、メダルの変更に伴い、コイン送出装置の構成部品の一部を交換したり、コイン送出装置を取り換えたりすることについて開示されていない。なお、従来技術として特許文献 3 もある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【特許文献 1】特開 2009 - 82210 号公報

【特許文献 2】特開 2011 - 118808 号公報

【特許文献 3】特開 2011 - 221881 号公報